

事業所見学

資源・素材学会 関西支部開催の「学生のための製錬現場研修会」に参加をしました。その一環として岡山にて DOWA ホールディングス株式会社での見学を行いました。グループ会社であるエコシステム岡山、エコシステムリサイクリング、バイオディーゼル岡山についての会社説明をしていただいた後、実際にリサイクル現場を見学しました。見学中の説明などを聞いていると「無駄」を極限まで減らしているという印象を持ちました。まずリサイクル事業では金属製錬業で培った選鉱・製錬技術を基に多種類の金属をリサイクルできる技術を発展させ、受け入れた廃棄物はほぼ 100%リサイクルし、市場に供給しています。また製錬やリサイクルなどの過程で発生した熱なども別の工程で再利用するなど最低限の OPEX で操業を行えるようにし、経済性を向上させています。私は経済性の評価を研究内容としているため、今後研究を進めるにあたって非常に参考になりました。また熱や廃棄物を極力減らすということは、経済性だけでなく環境問題にも大きな影響を与えます。製錬は大量の熱エネルギーや化学薬品を用います。DOWA エコシステムズでは明治 17 年に鉱山製錬会社としてスタートした同和鉱業株式会社より平成 18 年に分社し環境事業に特化した会社として設立し、「鉱山から環境へ」という考え方の元、120 年前から培った技術や経験を環境ビジネスに生かすことでいち早く環境事業を立ち上げました。これからの国際化社会の進展に伴い、資源も環境も世界的な視野で考えていく必要がありますその先頭に立ち循環型社会の実現を目指す企業であると実感しました。またリサイクル現場だけでなく使用済み天ぷら油をディーゼル燃料として用いる技術など幅広く見学をすることができました。来年から自動車会社に就職をする身として新たな知識や考え方を得ることができる非常に有意義な見学会となりました。末筆ではございますが、このような貴重な機会を設けていただいた資源・素材学会様、DOWA ホールディングス株式会社様に感謝の意を表します。

